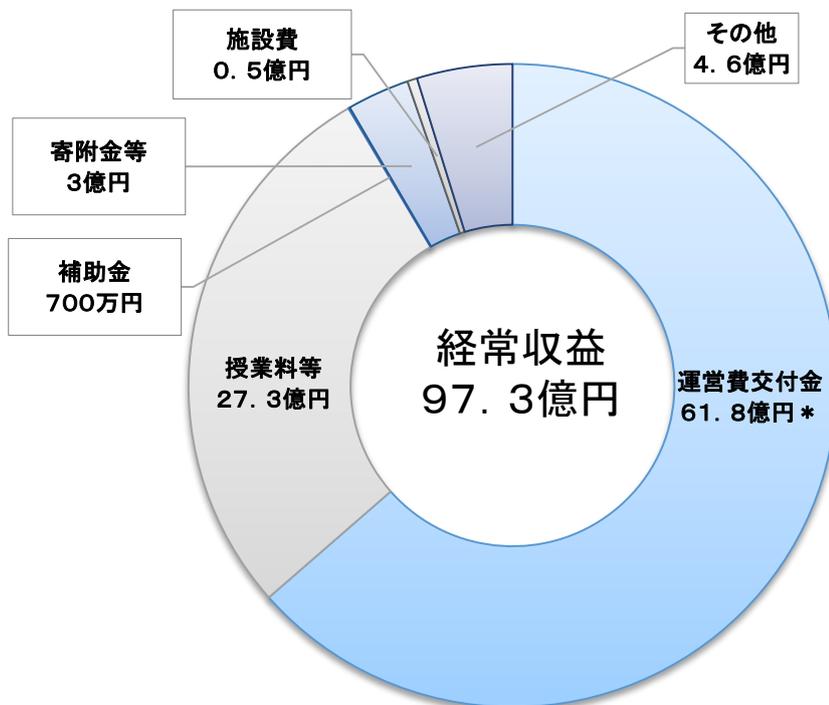


こうなってまっせ大教大

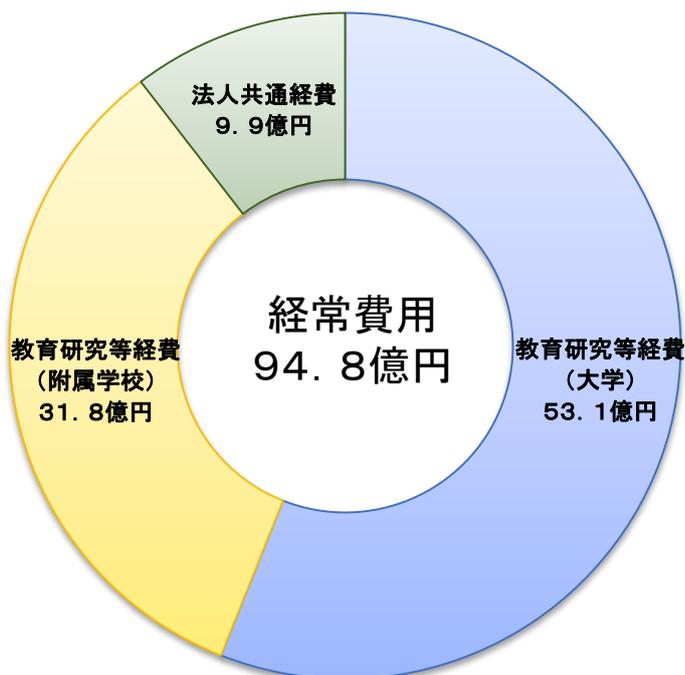
Q. 大阪教育大学の収益・費用はなんぼ？

令和元事業年度においては運営費交付金(*)及び授業料等の収益が97.3億円あり、それらの収益は本学の教育・研究・社会貢献等さまざまな活動において有効に活用しています。

がんばれ
大教生！！



*大学の業務運営のため国から交付されるものであり、国民の税金によって賄われています。



約95億円かあ。
宝くじ何回分だろう？



Q. 学生一人あたりの教育経費はなんぼ？

平均で
年間100万円
越えているんだあ～。



教育経費(人件費・減価償却費含)	47億8,961万円
学生数(学部・大学院・専攻科)	4,496人
学生一人あたり	106万5,306円

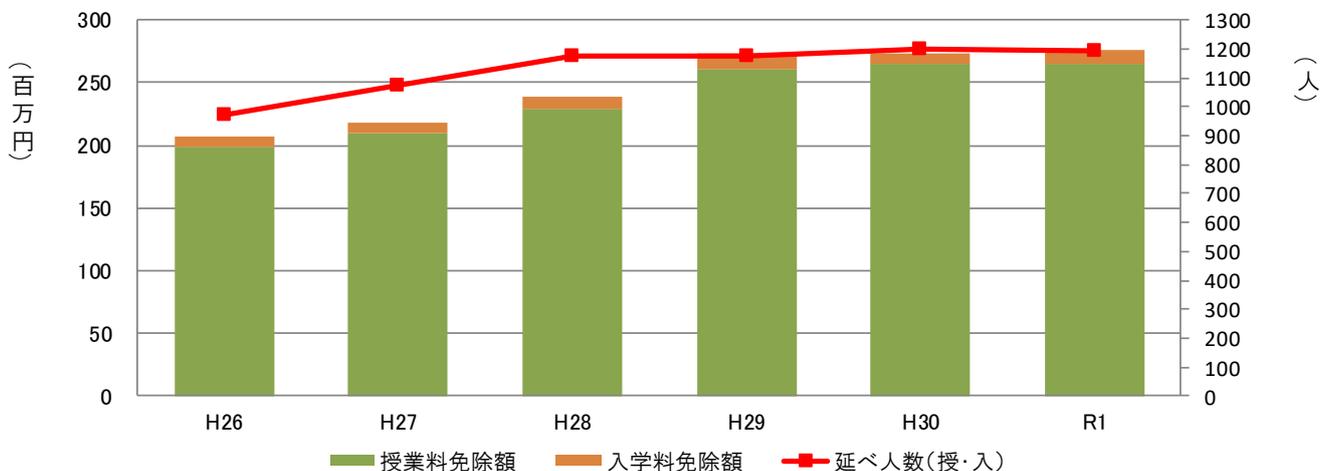
〔教育経費の内容〕

内容	金額
パソコン, 講義室設備費など	1億3,192万円
教務システムの開発費, 構内緑地保全費, キャンパスの清掃費など	9,270万円
講義室等の電気・ガス代など	7,032万円
教職員給与など	39億6,865万円
入学料・授業料免除費など	2億7,744万円
その他	2億4,858万円
計	47億8,961万円

令和元年度は
約2.8億円
免除しました！

●入学料・授業料免除実績

学生支援の取組として, 入学料・授業料について様々な免除制度を設けています。令和元年度は全額免除・半額免除を合わせて, 入学料で39名・約999万円, 授業料で1,156名・約2.7億円の免除を行いました。



Q. どんな取組やってんの？

【大阪市と合築施設設置に向けた基本協定を締結】

令和2年1月31日に、大阪市と「新・大阪市総合教育センター(仮称)及び連合教職大学院合築施設設置に向けた基本協定」を締結しました。今回の協定は、平成30年2月に締結した「子どもの未来を拓く大阪市と大阪教育大学との包括連携協定書」に基づく連携体制をさらに発展させ、連合教職大学院及び大阪市教育センターの機能強化を図るとともに、複雑化・多様化する大阪の教育課題に対応するため、天王寺キャンパス内に大阪市と本学の合築による新たな施設の建設をめざすもので、令和6年度の開設を予定しています。

【クラウドファンディング募集開始】

運営費交付金の減少傾向が続く中、自己収入獲得拡大を図り、財務基盤を強化することが課題となっていることに対応する一方策として、令和元年度よりクラウドファンディングの運用を開始しました。

本学の教育研究活動を広く社会に知らせることなどで新たな寄附者の発掘による寄附金収入拡大を目指し、令和元年度には以下の2件のプロジェクトを募集し、いずれも目標金額を大きく上回る御支援をいただくことができました。

『教師の魅力向上プロジェクト ～教示冥利に尽きるエッセイの公開・活用～』



目標金額：1,000,000円

寄附者数：153人

寄附総額：1,735,000円

『ほたる池復活プロジェクト ～大阪教育大学附属平野小学校121期生の挑戦～』



目標金額：700,000円

寄附者数：106人

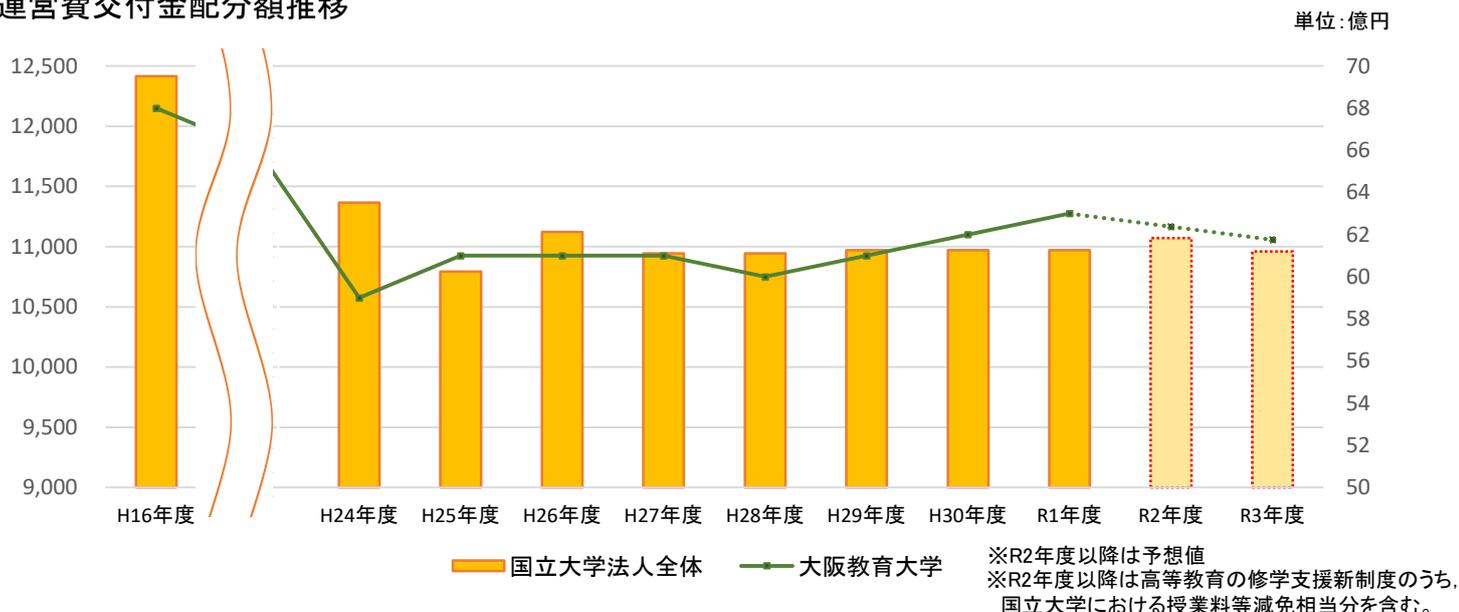
寄附総額：950,000円

大阪教育大学クラウドファンディング情報は [こちら](#) 



Q. 今後どうなっていくの？

○運営費交付金配分額推移

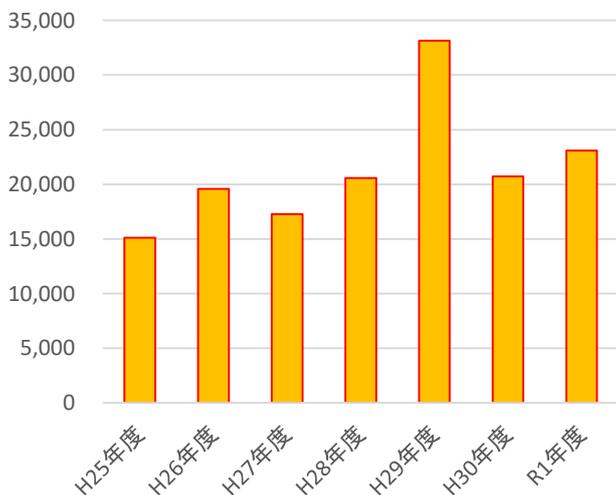


大学の業務運営の基盤となる財源である、国からの運営費交付金は、法人化移行初年度の平成16年度には約68億円の交付を受けておりましたが、国の厳しい財政状況により年々減少傾向にあり、令和元年度は約63億円の交付となりました。

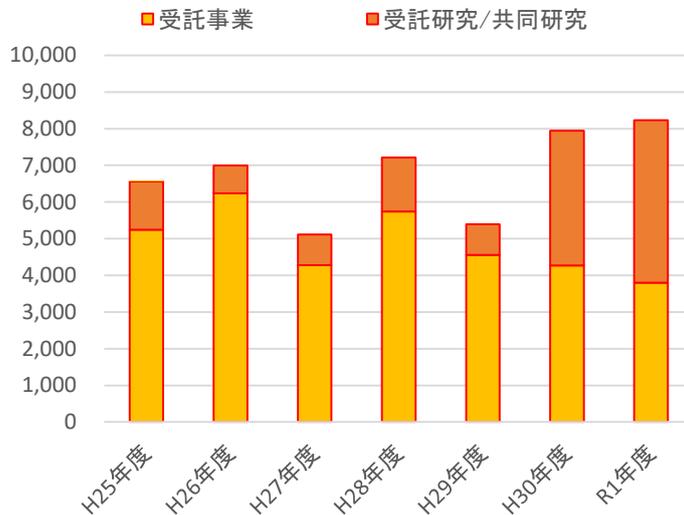
今後大学の教育・研究活動を発展させていくためには、大学施設の活用などの自己収入増加を図るとともに、受託研究や受託事業といった外部機関からの資金の獲得、「大阪教育大学基金」をはじめとするご支援者からの寄附が必要不可欠となっております。

○寄附金受入額推移

単位: 万円



○受託事業等獲得額推移



大阪教育大学
OSAKA KYOIKU UNIVERSITY

財務リーフレット2020 こうなっってまっせ大教大

対象: 令和元事業年度(2019年4月1日~2020年3月31日)

発行: 総務部財務課

e-mail: syukeika@bur.osaka-kyoiku.ac.jp

詳細な財務情報については以下のウェブページをご覧ください。

《大阪教育大学財務情報ウェブページ》

<https://osaka-kyoiku.ac.jp/university/zaimu/zaimujoho/>